

編著者紹介

■編者

寄川条路 よしかわじょうろ 明治学院大学教養教育センター教授

一九六一年生。専攻は哲学・倫理学。著書に『大学における〈学問・教育・表現の自由〉を問う』(法律文化社、二〇一八年)、『ヘーゲル——人と思想』(晃洋書房、二〇一八年)など。

第一章

■著者(五十音順)

石塚正英 いしづかまさひで 東京電機大学理工学部教授

終章

一九四九年生。専攻は社会哲学。著書に『マルクスの「フエティシズム・ノート」を読む——偉大なる、聖なる人間の発見』(社会評論社、二〇一八年)、『地域文化の沃土——頸城野往還』(社会評論社、二〇一八年)など。

小川仁志 おがわひとし 山口大学国際総合科学部教授

序章

一九七〇年生。専攻は公共哲学。著書に『NHK Eテレ 世界の哲学者に人生相談——スペシャルエディション』(すばる舎、二〇一九年)、『公共性主義とは何か——〈である〉哲学から〈する〉哲学へ』(教育評論社、二〇一九年)など。

野中善政 のなかよしまさ 宮崎大学名誉教授

第三章

一九四七年生。専攻は環境学。論文に『沿岸砕波帯における海塩粒子の生成・輸送に関する数値モデルの構成』(『宮崎大学教育文化学部紀要 自然科学』二五号、二〇二二年)、『気象因子に対する大気汚染物質濃度の感度解析について』(『宮崎大学教育文化学部紀要 自然科学』二二号、二〇〇九年)など。

福吉勝男 ふきちょうたけお 名古屋市立大学名誉教授

第二章

一九四三年生。専攻は哲学・倫理学。著書に『福沢諭吉と〈多元的〉市民社会論』(世界思想社、二〇一三年)、『現代の公共哲学とヘーゲル』(未來社、二〇一〇年)。論文に「福沢諭吉とG・W・F・ヘーゲル——〈理想主義的現実主義〉の思想(理想)二〇一九年三月号)など。

山口雪子 やまぐちゆきこ 岡山短期大学准教授

第四章

一九六五年生。専攻は環境教育学。論文に「障害者の立場から〈共生社会〉を考える(一)〜(三)」(おかやま人權研究センター『人權二二』二〇一八年二月号〜二〇一九年四月号)、「自然体験型環境教育のためのバリアフリー教材に関する研究」(環境情報科学センター『環境情報科学学術研究論文集』第三二号、二〇一八年二月)など。